

# 第1学年国語科学習指導案

日 時	平成20年10月15日(水)	
学 級	1年1組31名	1年2組31名
授業者	熊澤 涼子	鈴木 飛鳥 井上 淳子

- 1 単元名 こえにだしてよもう  
教材名 「くじらぐも」 (光村図書 1年下)  
「ひつじぐものむこうに」 (あまんきみこ 文研出版)

## 2 単元について

### (1) 児童について

児童は、これまでに物語教材として「はなのみち」(6月)「大きなかぶ」(9月)で、楽しく読むこと、挿絵や文をもとに、場面の様子を想像して読むことの学習を行った。その中で、動作化や、思ったことをふきだしに表すこと、紙芝居作りや音読表現などの学習活動も行ってきた。入学して文字そのものの学習から始めた児童も、次第に文や文章を読む力を身に付け簡単な文章を書く段階に進んできた。この単元では、それらの学習をもとに、さらに登場人物の様子や場面の様子から想像を広げて読み、会話文などの音読表現の工夫や空想したことを書いて発表するなどして、読むことの学習をすすめていく。

児童の実態として、思ったことを話したり音読したりすることが好きな子や、本の読み聞かせ・読書を好む子は比較的多い。しかし、主語や述語をおさえ様子をとらえるなど、叙述に即して正しく読み取ることができている児童は少ない。叙述に即して正しく読むこと、さらに言葉と挿絵を手がかりに、想像を広げて読むことを行わせていきたい。また、中には自分で読むとなるとまだ自信をもってすらすら読むことができない、思ったことをうまく書けない子もいる。そこで、スキルを使った音読練習を行い、会話文の音読や動作化を意図的に取り入れながら、読むこと、想像することの楽しさに積極的に参加させたい。

### (2) 教材について

第1学年及び第2学年における読むことの目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。書くことの目標は、「経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。」である。本単元にかかわっての読むことの重点は「ウ 場面の様子について想像を広げながら読むこと」「エ 語や文としてのまとまりや内容のまとまりを考えながら、言葉の意味が分かるように声に出して読む」である。書くことの重点は「ア 相手や目的を考えながら、書くこと」である。

本教材「くじらぐも」は、体育の時間に、空に大きくものくじらが現れて、1年生の子どもたちと空の旅をするお話である。「まねをして空で体操をするくじらと、互いに『ここへおいで』と呼びかけ合い、子どもたちは空へ向かってジャンプする。そして、風に吹き飛ばされくじらに飛び乗り、空の旅をする。昼になり運動場へ戻り、くじらとさようならを言って別れる。」という筋である。地上と空で繰り返されるダイナミックな空想の世界が描かれている。自分たちと同じ1年生が登場し、大きな雲に乗って空の旅をするという、児童にとってはわくわくするような物語である。場面の様子や順序がとらえやすく、また、子どもたちとくじらの会話と行動が対比して描かれており、人物の様子や気持ちもとらえやすい。この時期の児童に適切な教材であるといえる。さらに、会話文が効果的に扱われていて、声に出して読むことで、より想像を深めることが期待できる。自分もくじらに呼びかけたり一緒に空から眺めたりしているような気持ちになりながら楽しく想

像して読むことができるであろう。

この話に登場するくものくじらは、子どもたちの真似をして親しくなり、一緒に楽しく旅をする。いわば、人好きで、とてもおおらかで温かな性格（人柄）である。1年生なりにくものくじらの性格（人柄）をとらえさせ、読み取ったことをもとに自分で雲のお話を考える際にも雲の性格（人柄）を意識させながら書かせたい。

副教材として扱う「ひつじぐものむこうに」は、友だちと離れて悲しい気持ちをかかえた女の子のもとに、ひつじぐもが現れて、雲の上に連れて行き友だちと再会させてくれる物語である。「くじらぐも」と同じように主役の心をあたたかにしてくれる雲との出会いが描かれている。主役に共感しながら、楽しく読み取ることができ、ひろめる段階で雲のお話を考える際に児童の想像力を広げるのに役立つと思われる。

### (3) 指導にあたって

本単元の指導にあたっては、各段階において以下の点について留意して指導したい。

「とらえる」段階においては、まず題名からお話の内容を予想させ、雲を見た経験や写真をもとにどんな雲が出てくるか想像させてから本教材と出会わせる。5枚の挿絵を使って全体のあらすじと5つの場面に分けられることをつかませたい。また、基本的な学習過程の「ひろめる」段階において、児童それぞれが自分で簡単な雲のお話を考えて発表するという目標を進めていくので、どの子も見通しをもって学習に取り組めるように、学習計画を分かりやすく提示したい。

「ふかめる」段階では、子どもたちとくじらぐもの位置関係を押さえながら、いつ、だれが、どこで、何をしたか、はっきりつかませるとともに、叙述に即して読み取ったことから、動作化や会話文の読み方の工夫をさせたり挿絵にふきだしを書かせたりして、想像を広げて読ませたい。また、読むことのスキルを明確に提示したい。最後に、読み取ったことや想像したことをもとにしてくじらぐもにあてて手紙を書かせたい。さらに、副教材として「ひつじぐものむこうに」という物語を読み（聞かせ）、くじらぐもと比べながら人物の気持ちを想像させたい。

「ひろめる」段階では、自分が出会いたい雲を想定してその雲の人柄や雲との対話を考えお話を作って発表させたい。

## 3 単元の目標

### (1) 主目標

◎ 登場人物の様子などを想像したり、声に出して読んだりして、物語を楽しむことができる。

### (2) 観点別目標

国語への関心・意欲・態度

・ 場面の様子を想像したことを話したり書いたり、声に出して読んだりしようとする。

書く能力

・ 想像したことを文で書くことができる。(ア)

読む能力

・ 文章や挿絵を見ながら、場面の様子について、想像を広げながら読むことができる。(ウ)

・ 語や文としてのまとめ方や内容、声の大きさなどを考えながら、声に出して読むことができる。

(エ)

単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力
・ 絵や文章から場面の様子を想像したことを話したり書いたり、声に出して読んだりして物語を楽しんでいる。	・ 絵や文章から想像したことや雲と話したいことを文で書いている。	・ 文章や挿絵を見ながら、場面の様子について、想像を広げながら読んでいる。 ・ 想像したことを声の大きさや表情に表して声に出して読んでいる。

4 指導計画（12時間）及び観点別評価規準

次	時間	目標	学習活動	身に付けさせたい力	読みのスキル	評価規準 (評価方法)
一 と ら え る	1	教材文を読み、題名の意味と登場人物の大体をつかむことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題名から内容を想像する。</li> <li>・雲について思ったことを話す。</li> <li>・教師の範読を聞く。</li> <li>・登場人物を確かめる。</li> <li>・場面が5つあることと場面の順序をとらえる。</li> <li>・主役は子どもたちであることをおさえる。</li> <li>・面白かったことを書く。</li> </ul>	お話の内容を想像する力 感想をもつ力	題名 登場人物 主役 場面分け	関 題名・挿絵から話の内容を予想している。範読を集中して聞いている。(発言、態度)
	2	あらすじと学習の順序をつかむことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を交流しながら学習計画を立て、単元の最後に雲のお話を作ることを知る。</li> </ul>	お話の順序をとらえる力	設定(時、場所、できごと)	読 場面の設定をつかんでいる。(学習シート)
	3	新出漢字、片仮名等を知り、音読練習に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出漢字や片仮名、言葉について学習する。</li> <li>・音読練習をする。</li> </ul>	正しく読む力	音読(一人読み、一文交代読み、追い読み)	読 声に出して正しく読んでいる。
二 ふ か め る	4	一の場面を読み、できごとの始まりと登場人物の気持ちをつかむことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつ、だれが出てきたか、どこにいるのか、「」はだれが言った言葉かをつかむ。</li> <li>・挿絵を見て場面の様子を想像する。</li> <li>・助詞「も」の働きを考える。</li> </ul>	主語と述語をとらえる力	主語 述語 対比	書 誰が何をしたか、正しく書き写している。(学習シート)
	5	二の場面を読み、登場人物の様子を想像することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くじらと子どもたちの位置関係をつかむ。</li> <li>・会話文をもとに音読の工夫を行う。</li> </ul>	文や挿絵から想像する力	会話 音読 挿絵	読 文章や挿絵から想像して読んでいる。(学習シート、発言)
	6	三の場面を読み、場面の様子や登場人物の気持ちを想像することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・叙述に即して子どもたちの様子や気持ちを想像する。</li> <li>・動作化、音読の工夫をする。</li> </ul>	想像したことを動作化し、音読で表現する力	会話 音読	読 文章や挿絵から想像して読んでいる。(学習シート、音読、発言)

	7 (本時2組)	四の場面を読み、場面の様子や登場人物の気持ちを想像することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちやくじらの気持ちを自由に想像しながら読む。ふきだしを書く。</li> <li>「～のほうへ。」「どこまでもどこまでも」という表現をおさえる。</li> </ul>	文章や挿絵から想像を広げる力	くりかえし 音読	<b>読</b> 文章や挿絵から場面の様子や気持ちを想像して読んでいる。(学習シート、音読、発言)
	8 (本時1組)	五の場面を読み、場面の様子や登場人物の気持ちを、想像することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちとくじらの別れの様子をつかみ、気持ちを想像してふきだしに書き音読の工夫をする。</li> </ul>	想像したことをもとに音読の工夫をする力	会話 音読	<b>読</b> くじらぐもと別れるとき子どもたちの気持ちを読み取っている。(学習シート、音読)
	9	くじらぐもに手紙を書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらすじを確認する。</li> <li>読んで思ったことを、くじらぐもにあてた手紙に書く。</li> </ul>	叙述を基に想像する力 感想をもち、文章に書く力	あらすじ 人柄	<b>書</b> 思ったことを文章に書いている。(手紙文)
	10	副教材を読み、身に付けた力を確かめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>副教材を読んだり読み聞かせを聞いたりする。</li> <li>感想を話し合う。スキルの確かめを行う。</li> </ul>	楽しく物語を読む態度	主役 人柄	<b>読</b> 物語を楽しく読んでいる。(態度・発言・学習シート)
三 ひ ろ め る	11	雲について話し合い、雲の絵と話を書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで見つけた雲と想像したことを発表する。</li> <li>雲の絵と話を書く。</li> </ul>	雲について話を書く力	人柄 会話	<b>関</b> 雲について想像したことを書こうとする。(学習シート、態度)  <b>書</b> 想像したことを書いている。(学習シート)
	12	発表会をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>雲の話の発表会をする。</li> </ul>	友だちの話をしっかり聞く力 会話文を読む力	感想 音読	<b>聞</b> 友だちの話を聞き、感想を持っている。(感想)

5 本時の指導（1年2組 7/12時間 授業者 鈴木 飛鳥・井上 淳子）

(1) 目標

四の場面を読み、場面の様子や登場人物の気持ちを想像することができる。

(2) 具体の評価規準と手立て

A：十分満足	B：おおむね満足	努力を要する児童への支援
場面の様子や子どもたちの気持ちを読み取り、ふきだしを書いている。また、旅をして子どもたちがどんな気持ちになったかを書いている。	場面の様子や子どもたちの気持ちを読み取り、ふきだしを書いている。	挿絵を示して、子どもたちとくじらぐもが一体になり、楽しい大空の旅をしていることを想起させる。出だしの言葉を示す。

具体例A：ふきだし「海にもくじらがいるよ。」

「わたしの家、見えるかな。」

心に残ったこと

ぼく（わたし）は、くじらぐもの上から、海や村や町が見られて、楽しかったよ。

(3) 指導にあたって

児童は、前時までに、子どもたちとくじらぐもが一体となり、くじらぐもに飛び乗るまでの様子を読み取っている。本時は、子どもたちとくじらぐもが、楽しく大空の旅をする様子やもっと旅をしたいという気持ちを想像を広げて読み取らせる。

次の点に留意し指導にあたりたい。

- ① 学習の順序と方法を明確にすること。
- ② 挿絵や叙述から想像を広げ、ふきだしを書くこと。
- ③ 読み取ったことを音読に表現させること。
- ④ 集団解決で読み取ったことを生かして自力解決にあたらせること。

(4) 展開

段階	学習内容・学習活動（○主発問）	教師の支援（●支援を要する児童への手立て）	備考（◎評価規準・準備等）
とらえる 3	1 前時の学習を想起する。 2 学習課題を確かめる。 子どもたちは、くじらぐもとたびをしてどんなきもちになったでしょう。	・子どもたちが、どのようにしてくじらぐもに乗ったのかをおさえる。	・掲示 ・挿絵 ・紙板書
ふかめる 35	3 学習の見通しをもつ。 (1) 学習の流れを知る。 ①学習範囲 四の場面 ②学習方法と順序 文を読む。→挿絵から想像する。 →子どもたちの会話文を考え、ふきだしに書く。→音読の工夫をする。という学習の流れを知る。 ③使う読みのスキル <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ふきだし</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">くりかえし</span> (2) 学習場面を音読する。 ・リレー読み	・黒板に挿絵やカードを貼り、イメージをもたせる。	・挿絵 ・カード

<p>4 学習課題の解決を図る。</p> <p>(1) 「さあ、およぐぞ。」に対する子どもたちの反応を読み取る。(集団解決)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読</li> </ul> <p>○空は、どんな様子ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵から想像する。</li> <li>・繰り返しの部分の音読を工夫する。</li> </ul> <p>○くじらぐもの上は、どんな様子ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵を見て気付いたことを自由に想像して話し合う。</li> </ul> <p>○くもの上から見えるものは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海に、船が浮かんでいます。</li> <li>・町に、ビルがあります。</li> <li>・村に、田や畑が見えます。</li> </ul> <p>(2) 海や村や町に行ったときのふきだしを書く。(自力解決)</p> <p>○子どもたちは、くじらぐもの上でどんなことを話しているでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふきだしに書く。</li> <li>・予想される子どもたちの会話文 「海にもくじらがいるよ。」 「わたしの家、見えるかな。」</li> <li>・児童が書いたふきだしを文章の中に入れて、音読をする。</li> </ul> <p>(3) 歌を歌ったときの様子や空の広さを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは、空の旅をしてどんな気持ちになったか考える。</li> </ul> <p>5 学習課題についてまとめる。</p> <p>○子どもたちは、どんなことが心に残っているでしょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ぼく(わたし)は、くじらぐもの上から、海や村や町が見られて、楽しかったよ。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「さあ」という言葉から、はりきっている様子を読み取らせる。</li> <li>・おさえない語句 あおい あおい・・・</li> <li>・空の様子を表す言葉や挿絵から、子どもたちが空の旅を楽しんでいることをおさえる。</li> <li>・読み取るごとに一文ずつ音読の工夫をさせる。</li> <li>・おさえない語句 うみのほうへ・・・</li> <li>・前時の場面を想起しながら、子どもたちとくじらぐものが一体となって空の旅をしている様子をおさえる。</li> <li>・海、村、町のうちどこについてのふきだしを書くか選択させる。</li> <li>・ふきだしへの書き方を句点をつけることを確認する。</li> <li>●代表例を板書する。</li> <li>●出だしの言葉を示す。</li> <li>・おさえない語句 どこまでも どこまでも・・・</li> <li>・繰り返しの表現から、終わることのない広い空を子どもたちが楽しく旅している様子をおさえる。</li> <li>・板書で振り返り、子どもたちの気持ちをおさえる。</li> <li>・この他にも、くじらぐもと友達になった嬉しさや、空の広さに対する感動などが期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙板書</li> <li>・学習シート</li> <li>・学習シート</li> <li>◎場面の様子や登場人物の気持ちなど、想像したことを広げてふきだしに書いている。(学習シート・発表)</li> <li>・学習シート</li> <li>◎旅をしている子どもたちの気持ちを読み取り、まとめに書いている。(学習シート・発表)</li> </ul>
--	---	---

まとめ る 7	6 本時のまとめをする。 (1) 本時の学習をふり返る。(学習のしかた) (2) まとめの音読をする。(斉読) (3) 自己評価をする。  7 次時の学習を確かめる。	・感想は口頭で発表させる。 ・自己評価はワークシートに書かせ、挙手で確認する。(人物の気持ちが分かったか。進んで手を挙げたか。)	・学習シート
---------------	--	---	--------

(5) 板書計画

ふりかえり

空は、どこまでも どこまでも つづきます。

とてもひろい

ここに のこったこと

みんなは、うたを うたいました。

子どもたちとくじらぐもの  
挿絵

景色の挿絵

うみの ほうへ、  
むらの ほうへ、  
まちの ほうへ。

「さあ、およぐぞ。」

あおい あおい 空  
げんき いっぱい ↓ はやい

空のたびへ  
しゅっぱいだ。

ぶん ↓ え ↓ ふきだし ↓ おんどく

くじらぐも  
四のぼめん

子どもたちは、くじらぐもとたびをして、  
どんなきもちになったでしょう。

6 本時の指導 (1年1組 8/12時間 授業者 熊澤 涼子)

(1) 目標

場面の様子や会話から、くじらぐもと別れる時の子どもたちの気持ちを、想像を広げながら読むことができる。

(2) 具体の評価基準と手立て

A：十分満足	B：おおむね満足	努力を要する児童への支援
場面の様子と会話文から、子どもたちが別れるときにくじらぐもに言いたかったことを想像して、ふきだしに書いている。また、会話文を工夫して読んでいます。	場面の様子と会話文から、子どもたちが別れるときにくじらぐもに言いたかったことを想像して、ふきだしに書いている。 (2文)	挿絵を示して、空のたびが楽しかった子どもたちの気持ちを想起させる。出だしの言葉を示す。

具体例A：「くじらさん、きょうはどうもありがとう。空のたびが、とてもたのしかったよ。また、きてね。さようなら。」

(3) 指導にあたって

児童は、前時までに、くじらぐもとの楽しい交流の場面を読み取っている。本時は、くじらぐもとの別れに際して、楽しい空の旅をさせてくれたことへのお礼や友達になった嬉しさ、また会いたいという気持ちなどを読み取らせる。

次の点に留意し指導にあたりたい。

- ①学習の順序と方法を明確に示すこと。
- ②会話文などから気持ちを読み取らせ、ふきだしに書かせること。
- ③読み取ったことを音読に表現させること。
- ④集団解決で読み取ったことを生かして自力解決にあたらせること。

(4) 展開

段階	学習内容・学習活動（○主発問）	教師の支援（●支援を要する児童への手立て）	備考（◎評価規準、準備等）
とらえる 5	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>子どもたちは、くものくじらとさようならするとき、どんなことを言ったのでしょうか。</p> </div>	<p>・くじらと空のたびをして、いろいろなところへ行ったことを確かめる。</p>	<p>・掲示 ・さし絵</p>
ふかめる	<p>3 学習の見通しを持つ。</p> <p>(1) 学習の流れを知る。</p> <p>① 学習範囲 五の場面</p> <p>② 学習方法と順序 文を読む。→会話文をもとにふきだしを考えて書く。→音読の工夫をする。</p> <p>③ スキル <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">会話</span></p> <p>(2) 学習場面を音読する。 ・リレー読み</p> <p>4 学習課題の解決を図る。</p> <p>(1) 全体で解決する。</p> <p>① 会話文を取り出し、詳しく読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰が言った言葉か。</li> <li>・どんな気持ちで言ったのか。</li> <li>・どんな読み方をしたいか。</li> </ul> <p>○ せんせいが、「おや、もう、おひるだ。」といっておどろいたのは、どうしてでしょう。</p> <p>② くじらぐもについて考える。</p> <p>○くじらぐものことを、子どもたちは、どう思っているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想されるくじらぐも像 優しい 子ども好き 元気 親切 友だちみたい</li> <li>・どう思っているか</li> </ul>	<p>・黒板にさし絵やカードをはりイメージをもたせる。</p> <p>・先生の驚きから、時間を忘れるくらい旅を楽しんでいたことをおさえる。</p> <p>・おさえない語句 「おや、もう…。」 おどろくと</p> <p>・前時の場面を想起させ、くじらぐもに対する気持ちを想像させる。</p>	<p>・さし絵・カード</p> <p>・紙板書、学習シート</p>

35	<p>友だちみたいに思っている。また会いたい。またいっしょに遊びたい。</p> <p>③ 子どもたちの気持ちを想像する。 ○「さようなら。」と言いながら、子どもたちは、くじらにどんなことを言いたかったのでしょうか。くじらは、どうでしょうか。</p> <p>(2) 自力解決する。 ① くじらぐもに言いたいことを考えてふきだしに書く。 ② 発表する。 ③ 工夫して音読する。</p> <p>5 学習課題についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>そのたびに つれていって来て、ありがとう。ともだちになれて、うれしかったよ。また、いっしょにあそぼうね。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手がくじらぐもであることを確かめ、お礼や楽しかったことを伝える文を書くことをおさえる。</li> <li>・ふきだしへの書き方と句点をつけることを確認する。</li> <li>● 書き出せない子には出だしの言葉を与える。</li> <li>・板書を元に振り返り、まとめとする。</li> </ul>	<p>◎評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の様子与会話文から子どもたちがくじらぐもに言いたかったことを想像したことをふきだしに書いている。工夫して音読している。(学習シート、音読)</li> </ul>
まとめ 5	<p>6 本時のまとめをする。 (1) 本時の学習を振り返る。(学習のしかた) (2) まとめの音読をする。 (3) 自己評価を行う。</p> <p>7 次時の学習を確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価は学習シートに書かせ挙手で確認する。 (人物の気持ちが分かったか。進んで手を挙げたか。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習シート</li> </ul>

(4) 板書計画

ふりかえり

挿絵

さようなら

やさしい  
こどもずき  
げんき  
しんせつ

ともだち  
ありがとう  
また あいたい  
また いっしょにあそびたい

くじらぐも  
五のぼめん

子どもたちは、くものくじらとわかれるとき、  
どんなことをいったでしょう。

ぶん(かいわ) ↓ふきだし ↓おんどく  
「おや、もう おひるだ。」  
おどろくと

くじらぐも 設定表

場面	時	場所	登場人物	できごと	小見出し
一	四時 間目	運動場 空	子どもたち くじらぐも せんせい 子どもたち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育の時間に体操をしている。</li> <li>・ 空にあらわれる。</li> <li>・ 一緒に体操をする。</li> <li>・ 「あのくじらは、きつとがつうがすきなんだね。」</li> </ul>	くじらぐもといっしょにたいそうをする子どもたち
二	四時 間目	運動場 空	子どもたち くじらぐも 子どもたち くじらぐも 子どもたち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おうい。」とよびかける。</li> <li>・ 「おうい。」とこたえる。</li> <li>・ 「ここへおいでよう。」とさそいあう。</li> <li>・ 「よしきた。くものくじらにとびのろう。」</li> <li>・ はりきる。</li> </ul>	くじらぐもとよびあう子どもたち
三	四時 間目	運動場 空	子どもたち くじらぐも 子どもたち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手をつないで、まるいわになり、ジャンプする。</li> <li>・ 「天までとどけ、一、二、三。」</li> <li>・ 「もつとたかく。もつとたかく。」</li> <li>・ 風が、空へ吹き飛ばす。</li> <li>・ 手をつないだままくじらに乗っている。</li> </ul>	くじらぐもとよびのる子どもたち
四	四時 間目	空	くじらぐも 子どもたち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「さあ、およぐぞ。」</li> <li>・ 海のほうへ、村のほうへ、町のほうへ、と進む。</li> <li>・ うたをうたう。</li> <li>・ 空は、どこまでもどこまでも続く。</li> </ul>	くじらぐもとそらのたびをする子どもたち
五	四時 の間 の終り	空 ジャン グルジ ム	せんせい くじらぐも 子どもたち くじらぐも	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おや、もうおひるだ。」</li> <li>・ 「では、かえろう。」</li> <li>・ ジャングルジムにおろす。</li> <li>・ 「さようなら。」</li> <li>・ 「さようなら。」</li> <li>・ 元気よく空の中へ帰っていく。</li> </ul>	くじらぐもとわかれる子どもたち